

二級河川報得川、普通河川饒波川の定期浚渫と早期整備の要請決議

近年、全国各地で豪雨に伴う被害が多発し、甚大な被害をもたらしている。

沖縄県においても、毎年のように河川・排水路が氾濫し、多大な被害・損害をもたらし、しかも、年を追う毎に増加している状況である。

本町においては、豪雨の度、二級河川報得川や普通河川饒波川流域の増水・氾濫による床上・床下浸水、良好な耕土の流失、農作物等への大きな被害をはじめ、道路冠水による通行制限、通行自動車への浸水等、住民の安全安心な生活が危機的状況となっている。

特に平成19年12月に報得川上流部で氾濫流水に児童が巻き込まれた痛ましい事故や令和元年6月、令和2年5月、令和3年5月、令和4年5月31日及び6月3日の豪雨では、河川流域の住宅浸水等による家屋や家財への莫大な被害、また、農地への浸水による耕土の流失、農作物への深刻な被害が発生し、さらに、報得川河川沿いに位置する東風平中学校の教室、職員室、体育館等への浸水による生徒・教職員の生命を脅かす等、きわめて危機的な状況である。

一方、普通河川である饒波川流域は、那覇圏域のベッドタウンとして都市化が急速に進み饒波川へ排出する生活排水や、雨水の流出量が増大している状況にあり、近年の集中豪雨では饒波川の氾濫で、住宅への床下浸水等が多発し住生活に支障をきたしている。又、饒波川沿いの農地は、農作物栽培で生計を立てる専業農家が多く、浸水被害を受けた場合、一年間の生活費の大半を奪われてしまい安定した農業経営が困難な状況となっている。

そこで、次のことについて強く要請する。

- 一、 二級河川報得川の全流域の早期整備と定期的な浚渫を実施すること。
- 二、 普通河川は、国庫補助を受けることができない為、普通河川饒波川を二級河川へ格上げし、県による早急な河川整備と定期的な浚渫を実施すること。

以上決議する。

令和4年6月17日

沖縄県八重瀬町議会

あて先

沖 縄 県 知 事	玉 城	デニー	殿
沖 縄 県 議 会 議 長	赤 嶺	昇	殿
沖 縄 県 土 木 建 築 部 長	島 袋	善 明	殿